

## 第2章 誘致となる学校の選定と直接訪問

### 2-1 誘致対象候補校の選定方法

北方領土隣接地域の修学旅行等の誘致対象校を選定するにあたり、以下の5つの方法から来訪の見込みが高いと思われる学校を選定した。

#### ① 特定テーマによる教育視点の関心の高さ

学校のホームページ等の検索（キーワード検索など）により、『教育の視点』で関心を示すことが想定される学校をピックアップし、リストアップする。

キーワードA： 国際理解、歴史教育、平和学習

キーワードB： 現代社会、国土、資源、自然

キーワードC： 地域交流、観光産業、体験学習

ただし、都道府県単位で決められている「修学旅行実施基準」で設定されている旅行費用の制約もあることから、多様なリストアップが見込まれる関東地方、及び中部地方を中心に選定する。

#### ② 北海道への修学旅行実績

学校のホームページ等の検索（キーワード検索など）により、北海道に修学旅行に来た実績のある学校を選定する。

#### ③ 県民会議等からの推薦

北方領土問題教育者会議<sup>1</sup>、全国公民科・社会科教育研究会<sup>2</sup>、全国中学校社会科教育研究会<sup>3</sup>、全国中学校地理教育研究会<sup>4</sup>、等にヒアリング（又は電話、メール）を実施し、候補となる学校を元を選定する。

#### ④ 旅行代理店および全国修学旅行研究協会からの情報提供

全国修学旅行研究協会が全国の高等学校に対し調査した修学旅行先の調査結果から北海道に修学旅行を実施した学校を抽出した。

以上の観点から、より多くの観点で該当する学校を誘致対象の有力候補として順位付け

<sup>1</sup> <http://www.hoppou.go.jp/gakusyu/kyouiku/index.html>

<sup>2</sup> <http://www6.plala.or.jp/rim-me/zr/>

<sup>3</sup> <http://zenchusya.com/>

<sup>4</sup> <http://members3.jcom.home.ne.jp/zen-chu-chiken/>

し、選定候補を抽出した。

なお、北方領土隣接地域への旅行実績が既にある学校については、除外した。

## 2-2 誘致対象候補

2-1 の調査結果より、抽出された誘致対象候補は以下のとおり。

### (1) 国際理解や、歴史教育、平和学習に関する取組が実施されており、北海道内に所在する 中学校【20校】

国公私	学校名	特徴
国立	北海道A中学校	【国際理解】 ユネスコスクール加盟 国際協力（JICA 札幌センター訪問実施校） 【平和学習】 長崎への訪問
公立	北海道B中学校	【国際理解】 ・ALT、留学生との交流の効果的活用の工夫 ・宿泊学習、修学旅行などの体験活動の工夫 ・国際協力（JICA 出前講座実施校、JICA 札幌センター訪問実施校） 【平和学習】 広島への訪問
公立	北海道C中学校	【平和学習】 広島への訪問
公立	北海道D中学校	【国際理解】 国際協力（JICA 札幌センター訪問実施校） 【平和学習】 広島への訪問
公立	北海道E中学校	【国際協力】 H22 北海道国際理解教育研究協議会事務局次長（教頭）、JICA 札幌センター訪問（国際協力学習）、チャリティーコンサート（東南アジア就学支援） 【平和学習】 広島への訪問
公立	北海道F中学校	
公立	北海道G中学校	
公立	北海道H中学校	
公立	北海道I中学校	【国際協力】 ALT常勤
公立	北海道J中学校	【国際協力】 交換留学
公立	北海道K中学校	【国際協力】 留学生との交流会
公立	北海道L中学校	
公立	北海道M中学校	

国公私	学校名	特徴
公立	北海道N中学校	【国際理解】 国際協力（かぼちゃ販売益金をドイツ平和村、ユニセフ等へ募金）
公立	北海道O中学校	【国際理解】 ミアーズ中学校来校（H22）
公立	北海道P中学校	【国際理解】 国際協力（JICA 出前講座実施校）
私立	北海道Q中学校	【国際理解】 海外体験学習
私立	北海道R中学校	【国際理解】 国際留学
私立	北海道S中学校	【国際理解】 海外研修
公立	北海道T中学校	【その他】 ・道東への旅行実績あり

(2) 国際理解、歴史教育、平和学習、北海道への旅行実績のうち1つ以上の分野に関する取組が実施されており、北海道への修学旅行実績を持つ関東地方の中学校・高等学校【14校】

都道府県	国公私	学校名	特徴
茨城県	公立	茨城県A高等学校	【国際理解】 相互派遣
茨城県	公立	茨城県B高等学校	【国際理解】 情報化・国際化・高齢化対応 【北海道への旅行実績】 札幌・旭山・小樽
埼玉県	公立	埼玉県A高等学校	【国際理解】 ニュージーランド研修 【北海道への旅行実績】 ニセコ、小樽、札幌
埼玉県	公立	埼玉県B高等学校	
千葉県	公立	千葉県A高等学校	【北海道への旅行実績】 旭川・小樽・千歳
東京都	私立	東京都私立A高等学校	【国際理解】 国際交流活動の実施
東京都	私立	東京都私立A高等学校	【国際理解】 国外の少年たちとの交流
東京都	私立	東京都私立B高等学校	【国際理解】 英語に加えドイツ語、フランス語、中国語学習が選択可能 【北海道への旅行実績】 ニセコ
東京都	私立	東京都私立C高等学校	
東京都	私立	東京都私立D高等学校	【国際理解】 夏期英語&IT研修

都道府県	国公私	学校名	特徴
東京都	私立	東京都私立E高等学校	【国際理解】 交換留学、国際感覚
神奈川県	公立	神奈川県A高等学校	【北海道への旅行実績】 札幌、小樽、富良野
神奈川県	公立	神奈川県B高等学校	【国際理解】 国際・情報・科学・芸術等の諸分野において、 多様な内容の生涯学習の機会を県民に提供
神奈川県	私立	神奈川県C高等学校	【国際理解】 海外研修、ホームステイ

(3)国際理解、歴史教育、平和学習のうちのいずれかの分野に関する取組が実施されているか、もしくは北海道への旅行実績を持つ関東地方の中学校・高等学校【51校】

都道府県	国公私	学校名	特徴
宮城県	公立	宮城県A高等学校	【国際理解】 国際基準の総合技術者
宮城県	私立	宮城県B高等学校	
茨城県	公立	茨城県C高等学校	
茨城県	公立	茨城県D高等学校	【国際理解】 ニュージーランド海外研修、日タイ交流
栃木県	私立	栃木県A高等学校	【国際理解】 アメリカ・エルクグローブ高校交換留学ホームステイ、ニュージーランド語学研修
群馬県	私立	群馬県A高等学校	
埼玉県	公立	埼玉県C高等学校	
埼玉県	公立	埼玉県D高等学校	
埼玉県	公立	埼玉県E高等学校	【国際理解】 オンブローザ高校と相互交流
埼玉県	公立	埼玉県F高等学校	
埼玉県	公立	埼玉県G高等学校	【国際理解】 A L Tのベーススクール
埼玉県	公立	埼玉県H高等学校	【国際理解】 国際感覚の育成
埼玉県	公立	埼玉県I高等学校	【国際理解】 体験的な国際理解教育
埼玉県	公立	埼玉県J高等学校	
埼玉県	公立	埼玉県K高等学校	
埼玉県	私立	埼玉県L高等学校	
千葉県	公立	千葉県A高等学校	
千葉県	私立	千葉県B高等学校	

都道府県	国公私	学校名	特徴
千葉県	私立	千葉県C高等学校	【国際理解】 国際人としての幅広い視野
千葉県	私立	千葉県D高等学校	
東京都	公立	東京都公立A高等学校	【国際理解】 国際感覚を養う
東京都	公立	東京都公立B高等学校	【国際理解】 情報メディアなどを活用して、国際理解や平和の大切さを学ぶ。
東京都	公立	東京都公立C高等学校	【国際理解】 広く国際社会において信頼と尊敬を得られるよう人格の育成を目指す
東京都	公立	東京都公立D高等学校	
東京都	公立	東京都公立E高等学校	
東京都	公立	東京都公立F高等学校	
東京都	公立	東京都公立G高等学校	
東京都	私立	東京都私立E高等学校	【国際理解】 交換留学
東京都	私立	東京都私立F高等学校	【国際理解】 海外語学研修
東京都	私立	東京都私立G高等学校	【国際理解】 海外文化研修、東南アジア提携校との相互交流、イギリス・アメリカ留学
東京都	私立	東京都私立H高等学校	【国際理解】 体験型の楽しいイベントや調べ学習などを通して異文化に触れています
東京都	私立	東京都私立I高等学校	【国際理解】 難民を助ける会
東京都	私立	東京都私立J高等学校	【国際理解】 交換留学、短期留学
東京都	私立	東京都私立K高等学校	【国際理解】 海外留学
東京都	私立	東京都私立L高等学校	【国際理解】 国際社会を部隊に活躍し、構成で品格あるグローバルリーダーの育成
東京都	私立	東京都私立M高等学校	【国際理解】 40日間ホームステイ、1年留学
東京都	私立	東京都私立N高等学校	【国際理解】 良き社会人、良き国際人を目指している
東京都	私立	東京都私立O高等学校	【北海道への旅行実績】 函館、小樽、札幌
東京都	私立	東京都私立P高等学校	【国際理解】 海外研修・留学
東京都	私立	東京都私立Q高等学校	【国際理解】 語学研修、姉妹校留学
東京都	私立	東京都私立S高等学校	【国際理解】 英検取得、国際理解、国際交流、海外体験

都道府県	国公私	学校名	特徴
東京都	私立	東京都私立T高等学校	
東京都	私立	東京都私立U高等学校	【国際理解】 Native による授業、語学研修
東京都	私立	東京都私立V高等学校	【北海道への旅行実績】 函館
東京都	私立	東京都私立W高等学校	【北海道への旅行実績】 富良野、札幌、小樽
神奈川県	公立	神奈川県D高等学校	
神奈川県	公立	神奈川県E高等学校	
神奈川県	公立	神奈川県F高等学校	【国際理解】 地域国際
神奈川県	公立	神奈川県G高等学校	
神奈川県	私立	神奈川県H高等学校	
神奈川県	私立	神奈川県I高等学校	

(4) 国際理解、歴史教育、平和学習のうち1つ以上の分野に関する取組が実施されており、北海道への修学旅行実績を持つ中部地方の中学校・高等学校【10校】

都道府県	国公私	学校名	国際理解に関する記述
山梨県	公立	山梨県A高等学校	
山梨県	公立	山梨県B高等学校	
山梨県	私立	山梨県C高等学校	
山梨県	私立	山梨県D高等学校	
愛知県	公立	愛知県A高等学校	【国際理解】 国際交流活動
愛知県	公立	愛知県B高等学校	【国際理解】 国際交流活動
愛知県	私立	愛知県C高等学校	【国際理解】 留学やホームステイ受け入れ・語学学習
愛知県	私立	愛知県D高等学校	【国際理解】 国際交流
愛知県	私立	愛知県E高等学校	【国際理解】 留学やホームステイ受け入れ・語学学習
愛知県	私立	愛知県F高等学校	【国際理解】 国際交流

(5) 国際理解、歴史教育、平和学習のうちのいずれかの分野に関する取組が実施されているか、もしくは北海道への旅行実績を持つ中部地方の中学校・高等学校【15校】

都道府県	国公私	学校名	国際理解に関する記述
富山県	公立	富山県A高等学校	
富山県	公立	富山県B高等学校	
石川県	公立	石川県A高等学校	
福井県	公立	福井県A高等学校	【北海道への旅行実績】 登別、ニセコ、小樽、札幌、旭川
福井県	公立	福井県B高等学校	【北海道への旅行実績】 函館、ふらの、札幌
山梨県	公立	山梨県E高等学校	
長野県	公立	長野県A高等学校	【その他】 北方領土問題県民会議からの推薦校
岐阜県	公立	岐阜県A高等学校	
静岡県	私立	静岡県A高等学校	
静岡県	私立	静岡県B高等学校	【国際理解】 ホームステイ・交換留学
愛知県	公立	愛知県G高等学校	
愛知県	公立	愛知県H高等学校	【北海道への旅行実績】 ニセコ、小樽
愛知県	公立	愛知県I高等学校	
愛知県	公立	愛知県J高等学校	【北海道への旅行実績】 ニセコ、小樽
愛知県	私立	愛知県K高等学校	【北海道への旅行実績】 ニセコ、小樽

### 2-3 誘致対象の直接訪問校の選定

北海道の中学校については10校、道外（関東圏および中部圏）の中学校・高等学校については20校の計30校に対して直接訪問による説明を実施することを目標とした。なお、道外の中学校・高等学校については、第1回委員会での指摘（中部圏は旅費規程の問題があり誘致は難しいと思料）を受け、中部圏への直接訪問は中止し、全て関東圏の中学校・高等学校を対象を絞り込んだ。直接訪問する学校の選定方法は以下のとおり。

#### (1) 北海道の中学校

2-2の『(1)国際理解や、歴史教育、平和学習に関する取組が実施されており、北海道内に所在する中学校』で抽出した20校より、学校の受入れ意向および効率的に訪問可能なルート等により10校選定する。

## (2) 道外（関東圏）の中学校・高等学校

2-2 の『(2)国際理解、歴史教育、平和学習、北海道への旅行実績のうち1つ以上の分野に関する取組が実施されており、北海道への修学旅行実績を持つ関東地方の中学校・高等学校』の14校について全数依頼を実施した。

中部圏を中止したため、2-2 の『(3)国際理解、歴史教育、平和学習のうちのいずれかの分野に関する取組が実施されているか、もしくは北海道への旅行実績を持つ関東地方の中学校・高等学校【51校】』から学校を選定し、訪問受入れ依頼を実施した。

電話でのアポイント時、実施した学校訪問において以下のような課題があがった。

- ・ 訪問タイミングが合わない、直接訪問（営業的訪問）を受け付けないなどの理由により、抽出した学校に不足が生じた
- ・ 都立高校については修学旅行の旅費規程（7万円台）の関係から当地への修学旅行が実質上難しい

このため、途中より、新たなる学校選定の基準を『私立学校で北海道・沖縄など飛行機を利用した修学旅行を実施している学校』と設定し、目標訪問数に達するまでアポイントを実施した。リストに追加し電話により訪問説明の打診をした学校は以下のとおり。

都道府県	国公私	学校名
埼玉県	私	埼玉県M高等学校
千葉県	私	千葉県E高等学校
千葉県	私	千葉県F高等学校
東京都	私	東京都私立X高等学校
東京都	私	東京都私立Y高等学校
東京都	私	東京都私立Z高等学校
東京都	私	東京都私立A B高等学校
東京都	私	東京都私立A C高等学校
東京都	私	東京都私立A D高等学校
東京都	私	東京都私立A E高等学校
東京都	私	東京都私立A F高等学校
東京都	私	東京都私立A G高等学校
東京都	私	東京都私立A H高等学校
東京都	私	東京都私立A I高等学校
東京都	私	東京都私立A J高等学校
東京都	私	東京都私立A K高等学校



東京都	私	東京都私立A L 高等学校
東京都	公	東京都私立AM高等学校
東京都	私	東京都私立AN高等学校
東京都	私	東京都私立AO高等学校
東京都	公	東京都公立H高等学校
東京都	公	東京都公立I 高等学校
東京都	私	東京都私立AP 高等学校
東京都	私	東京都私立AQ 高等学校
東京都	私	東京都私立AR 高等学校
東京都	私	東京都私立AS 高等学校
東京都	私	東京都私立AT 高等学校
東京都	公	東京都私立AU 高等学校
東京都	公	東京都公立J 高等学校
東京都	公	東京都公立K 高等学校
東京都	公	東京都公立L 高等学校
東京都	私	東京都私立AV 高等学校
東京都	私	東京都私立AW 高等学校
東京都	私	東京都私立W 高等学校
東京都	私	東京都私立AX 高等学校
東京都	私	東京都私立AY 高等学校
東京都	公	東京都公立M 高等学校
東京都	公	東京都公立N 高等学校
東京都	公	東京都公立O 高等学校
東京都	私	東京都私立W 高等学校
神奈川県	私	神奈川県J 高等学校
神奈川県	私	神奈川県K 高等学校
神奈川県	私	神奈川県L 高等学校
神奈川県	私	神奈川県M 高等学校
神奈川県	公	神奈川県N 高等学校
神奈川県	公	神奈川県O 高等学校
神奈川県	公	神奈川県P 高等学校
神奈川県	公	神奈川県Q 高等学校
神奈川県	公	神奈川県R 高等学校

## 2-4 学校への直接訪問の概要

### 2-4-1 直接訪問した学校

直接訪問した学校は以下のとおり。北海道 12 校、関東圏 20 校の計 32 校に対し実施した。

#### (1) 北海道の中学校

	学校名	訪問日	ツアー参加
1	北海道 J 中学校	9 月 21 日	
2	北海道 U 中学校	9 月 21 日	○
3	北海道 K 中学校	9 月 21 日	
4	北海道 V 中学校	9 月 21 日	
5	北海道 T 中学校	9 月 21 日	○
6	北海道 W 中学校	9 月 22 日	
7	北海道 X 中学校	9 月 22 日	
8	北海道 Y 中学校	9 月 22 日	
9	北海道 B 中学校	9 月 20 日	○
10	北海道 N 中学校	9 月 20 日	
11	北海道 Z 中学校	10 月 27 日	○
12	北海道 α 中学校	10 月 27 日	

#### (2) 関東圏の中学校・高等学校

	学校名	訪問状況	ツアー参加
1	東京都私立 O 高等学校	10 月 4 日	
2	東京都立 D 高等学校	10 月 4 日	
3	東京都立 E 高等学校	10 月 5 日	
4	東京都私立 H 中学高等学校	10 月 5 日	○
5	神奈川県 F 高等学校	10 月 5 日	
6	千葉県 A 高等学校	10 月 5 日	
7	神奈川県 S 高等学校	10 月 6 日	
8	埼玉県 E 高等学校	10 月 6 日	○
9	埼玉県 K 高等学校	10 月 25 日	
10	神奈川県 T 高等学校	10 月 26 日	
11	埼玉県 I 高等学校	10 月 27 日	○
12	東京都私立 AD 中学校	10 月 27 日	
13	東京都私立 AD 高等学校	10 月 27 日	

14	千葉県F中学校	10月28日	○
15	千葉県F高等学校	10月28日	○
16	千葉県E高等学校	11月2日	○
17	神奈川県U高等学校	11月4日	
18	東京都私立G高等学校	11月9日	
19	東京都私立G中学校	11月9日	
20	東京都私立Q中学・高等学校	11月10日	

※千葉県D高等学校は資料送付のみで直接訪問は実施していないが参加

## 2-4-2 訪問概要

### (1) 訪問時の持参・提供資料

直接訪問時には北方領土隣接地域の各自治体等から提供を受けた以下の資料を持参・提供した。

- ・ 「Nの風」根室市水産経済部商工観光課
- ・ 「ねむろガイドマップ」根室市・根室市観光協会
- ・ 「北海道別海町」別海町役場
- ・ 「あなたの北海道は別海にあります」別海町観光協会
- ・ 「野付半島」別海町
- ・ 「国後島を望むクルージング」別海観光船
- ・ 「標津町感動体験」標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会
- ・ 「Green Odyssey」中標津町
- ・ 「知床羅臼（クリアファイル資料）」羅臼町
- ・ 「北方領土隣接地域への修学旅行のお誘い」パワーポイント資料クリップ綴じ
- ・ 「北方領土学習のご案内」北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会
- ・ 「北海道根室地域の修学旅行」北海道根室振興局



直接訪問時の持参・提供資料一式

※途中からはモニターツアーのチラシ・申込書も同封

## (2) 直接訪問により得られた学校の意向等

北方領土隣接地域への修学旅行誘致のための説明の中で得られた学校からの意向等は以下のとおり。

### 1) 行き先と実施時期

		時期	方面
関東圏	公立	高校2年の1月	沖縄(2校)
		高校2年の3月	沖縄(2校)
		高校2年の6~11月	沖縄(3校)、北海道(道南)、広島・京都・奈良
	私立	高校2年の3月	沖縄
		高校2年の4月後半	沖縄
		中学3年の12月	沖縄
北海道※ (中学校)		中学3年の5月	京都、関西、道東(4校)
		中学3年の6月	道東(4校)、道南

※多数の学校が東北方面から急遽変更

## 2) 修学旅行の造成時期

- ・入学前の春休みに行き先をほぼ決めている学校が多数

## 3) 予算

		予算
関東圏	公立 (2泊3日～3泊4日)	7.6万円以内(都立)
		8.1万円が上限(埼玉県立)
		10万円以内(千葉県立、神奈川県立)
	私立 (3泊4日～5泊6日)	10～15万円
		特に上限なし(1校)
北海道(中学校)		6～6.5万円

## 4) テーマ

- ・体験学習(民芸品作成、郷土料理調理)と平和学習は必須との意見が多数。
- ・ラフティングなどレジャー的な自然体験についても要望あり。

## 5) 訪問した学校の修学旅行において好評だった内容

- ・沖縄では戦争体験の講話、防空壕視察、スキューバダイビングが好評との意見が多数。
- ・民泊については既に実施済みの学校は好意であるが、実施経験のない学校は否定的な見解を示している。

## 6) 北方領土隣接地域において望まれる体験内容など

- ・海の体験メニュー(スキューバダイビング、マリンスポーツ)
- ・地元で獲れた新鮮な魚介類を使った料理
- ・漁業・農業・自然と幅広い体験学習が出来る点に魅力を感じる

## 7) その他

- ・北方領土問題について、どの教材を使ったらよいか、どのように最後のまとめをしたら良いか事前学習が難しい。文部科学省の副教材があれば使いやすい。(4校)
- ・費用的な補助、事前学習補助などは魅力があり旅行先の決定要因の1つになる。(2校)
- ・地元の食材を使った料理が出るなどの特徴が必要(関東と同じ料理は望まない)
- ・北方領土隣接地域ならではのお土産、ブランド商品の開発が必要ではないか。
- ・福島のブリティッシュ・ヒルズのような英語学習が組合せられたら魅力が増すのではないか。

## 2-5 直接訪問のまとめ

北方領土隣接地域への修学旅行を誘致するための学校への直接訪問により、修学旅行の可能性や誘致活動等について得られた課題と、今後の展開に向けた留意点は以下のように整理できる。

### (1)直接訪問で得られた課題

学校数・生徒数の多さから、今後の重要なターゲットの1つとして重要になる関東圏の高等学校においては、第1章で整理した統計等のデータから把握できるように、沖縄が最大の競合先になる。

就職活動や大学受験の関係から、修学旅行の実施時期は年々早まっており、特に最近では高校2年生の後半(3月)に実施時期が集中する傾向があることから、気候面で沖縄に比べると少し魅力が落ちるとの指摘もあった。

また、沖縄が面積的にも小さいことから、宿泊等の拠点を1箇所を設定し観光地等を訪問することが可能であるのに対し、北海道は面積的に大きく、観光地等が点在しているため、拠点を1箇所に設定できないこと、また、訪問地までの移動時間が長いことが、運営面および費用面で、沖縄に劣後している面がある。

### (2)今後の展開に向けた留意事項

修学旅行において、体験学習(民芸品作成、郷土料理調理)と平和学習は必須との意見が多数を占めており、北方領土隣接地域はそれらを提供できる十分な素材を有しているため、基本的には沖縄に対抗する十分な競争力を有している。

沖縄の優位性の1つとして、スキューバダイビングやラフティングなどレジャー的な自然体験も好評との意見も多数あるため、北方領土隣接地域においても、これらについて、受け入れ人数も含め、展開を図っていく必要があるものとする。

さらに、漁業・農業・自然と幅広い体験学習が出来る点は、北方領土隣接地域および北海道の優位性であるため、上述したレジャー的な自然体験と同様に、受け入れ人数や施設の充実を含め、展開を図っていく必要があるものとする。

民泊については既に実施済みの学校は好意的であるが、実施経験のない学校は否定的な見解を示していることもあり、北方領土隣接地域においては、一気に民泊を展開していくというよりも、取り扱い数は少なくとも着実に実績を積んでいくことが必要であるとする。

最後に、北方領土問題については、必ずしも教員の知識や興味は高くないことから、事前学習を含め、教材(推奨する教材)や学習の進め方など、事前学習や事後学習を支援することも修学旅行決定の1つの要素になると考えられる。